

平成 30 年度
学生調査報告

山口県立大学

調 査 概 要

1 目 的

修学支援、学生生活支援、キャリア形成支援に関する学生の実状を把握し、教育及び学生支援の改善に必要な基礎資料を得ること

2 対象及び回収状況

- ・学部学生 1,308人 [平成30年10月1日現在]
(休学及び交換留学中の者を除く在籍者)
- ・回答人数 1,217人
- ・回収率 93.0%

3 時 期

平成30年10月1日～10月5日（回収期限）
(学科学年別の後期オリエンテーションにて毎年実施)

4 方 法

質問紙調査（マークシート及び質問紙記入）

オリエンテーションの時間中に配付・回答・回収を基本とし、時間内に回答できなかった場合は、各自が回収ボックスに投函する方法により実施

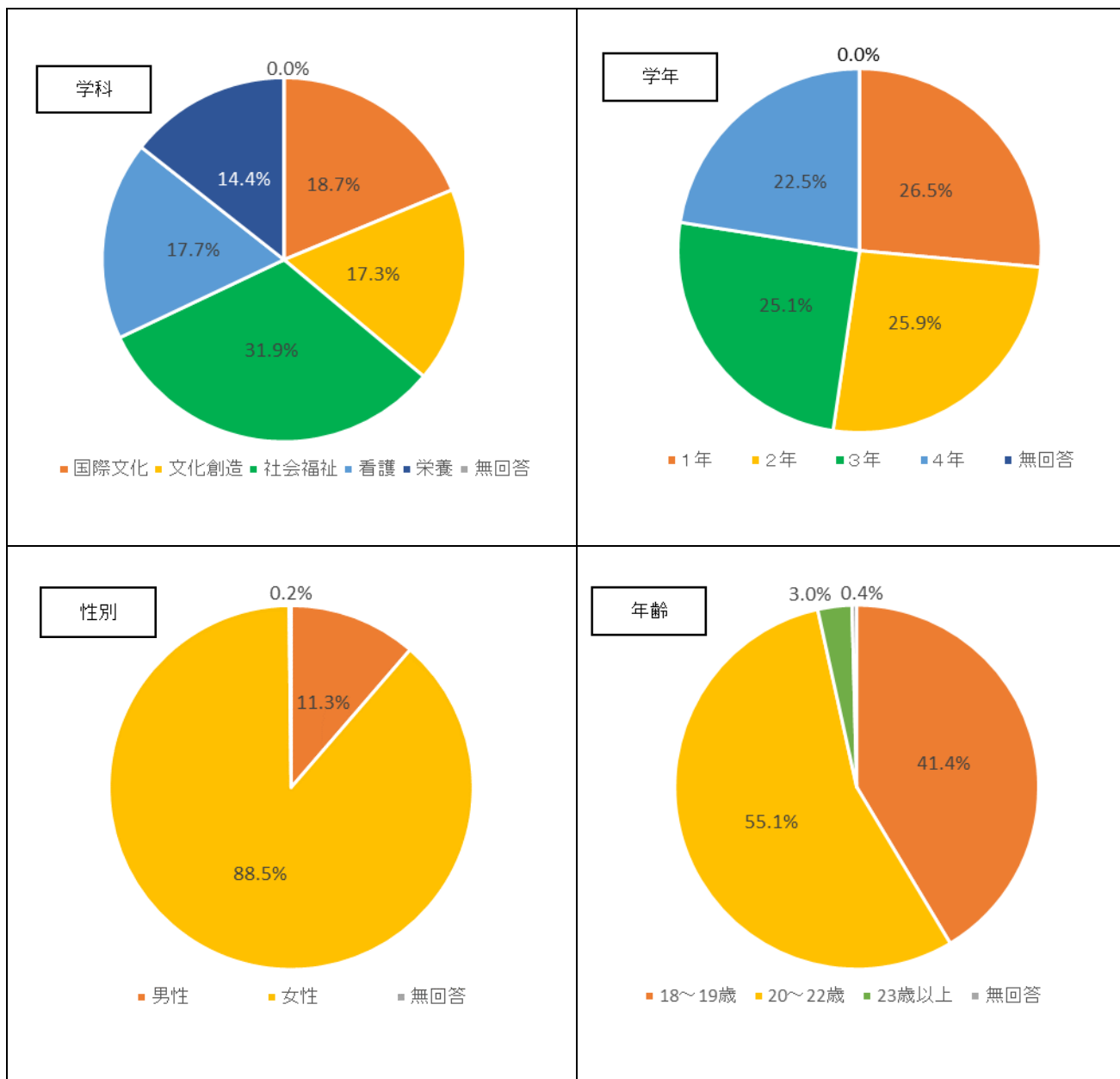
5 結果の公表

大学ホームページの学内専用ページに掲載

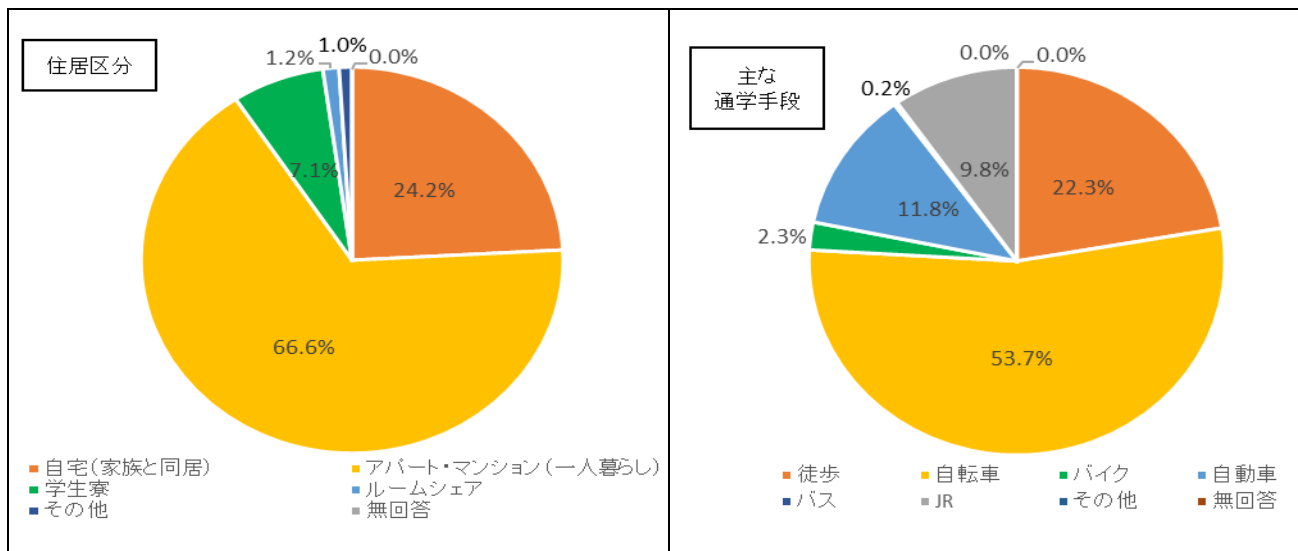
目次

I 基本属性.....	3
II 住居・通学について.....	4
III 学生生活全般の満足度.....	4
IV 本学で学ぶ目的について.....	5
V 本学で開講している授業について.....	6
VI 授業外学習時間について.....	7
VII 本学の教員について	8
VIII 本学での学修成果について.....	9
IX 本学のキャリア教育について.....	11
X 施設・設備の満足度.....	12
XI 各種相談窓口に対する満足度.....	13
XII 課外活動・サークル活動について.....	14
XIII 交友・交流関係に対する満足度.....	15
XIV アルバイト・生活習慣・その他生活実態について.....	16
XV 新キャンパスに対する満足度.....	19

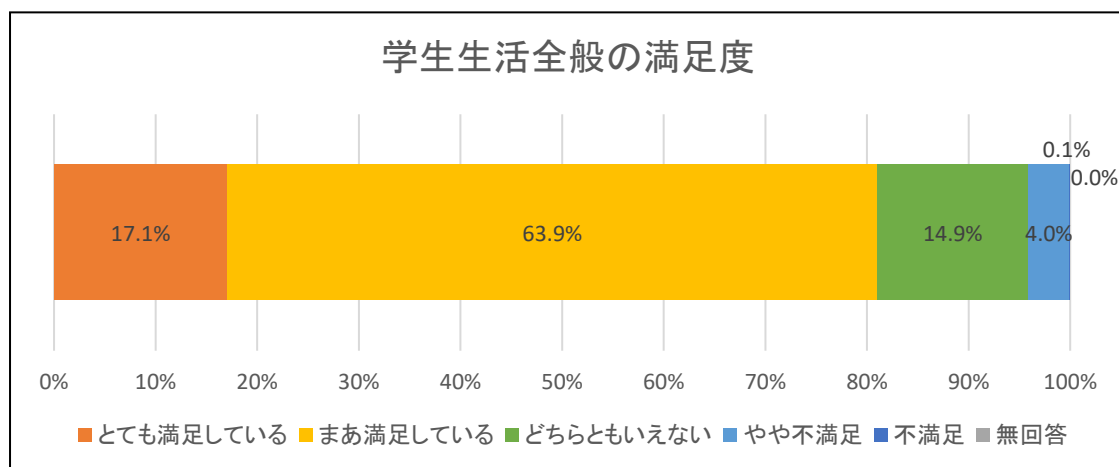
I 基本属性



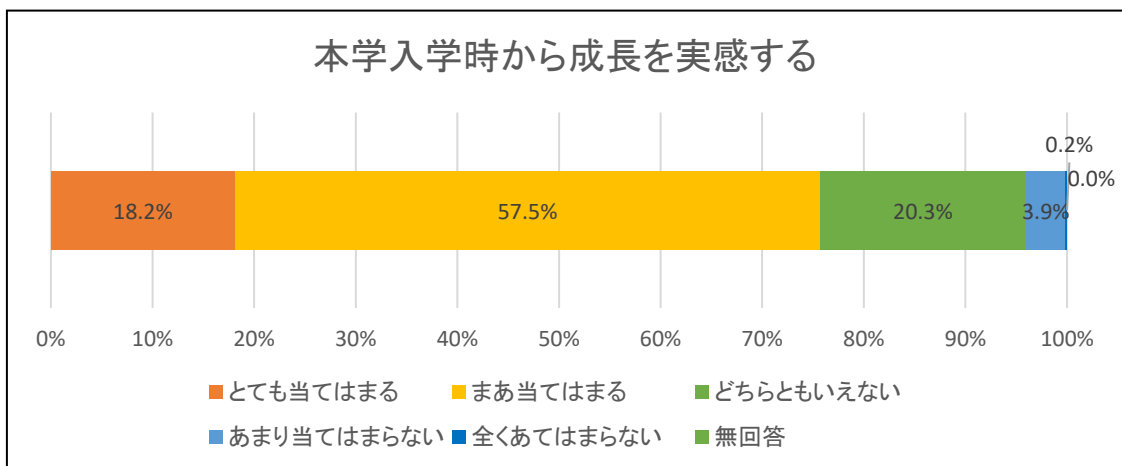
II 住居・通学について



III 学生生活全般の満足度

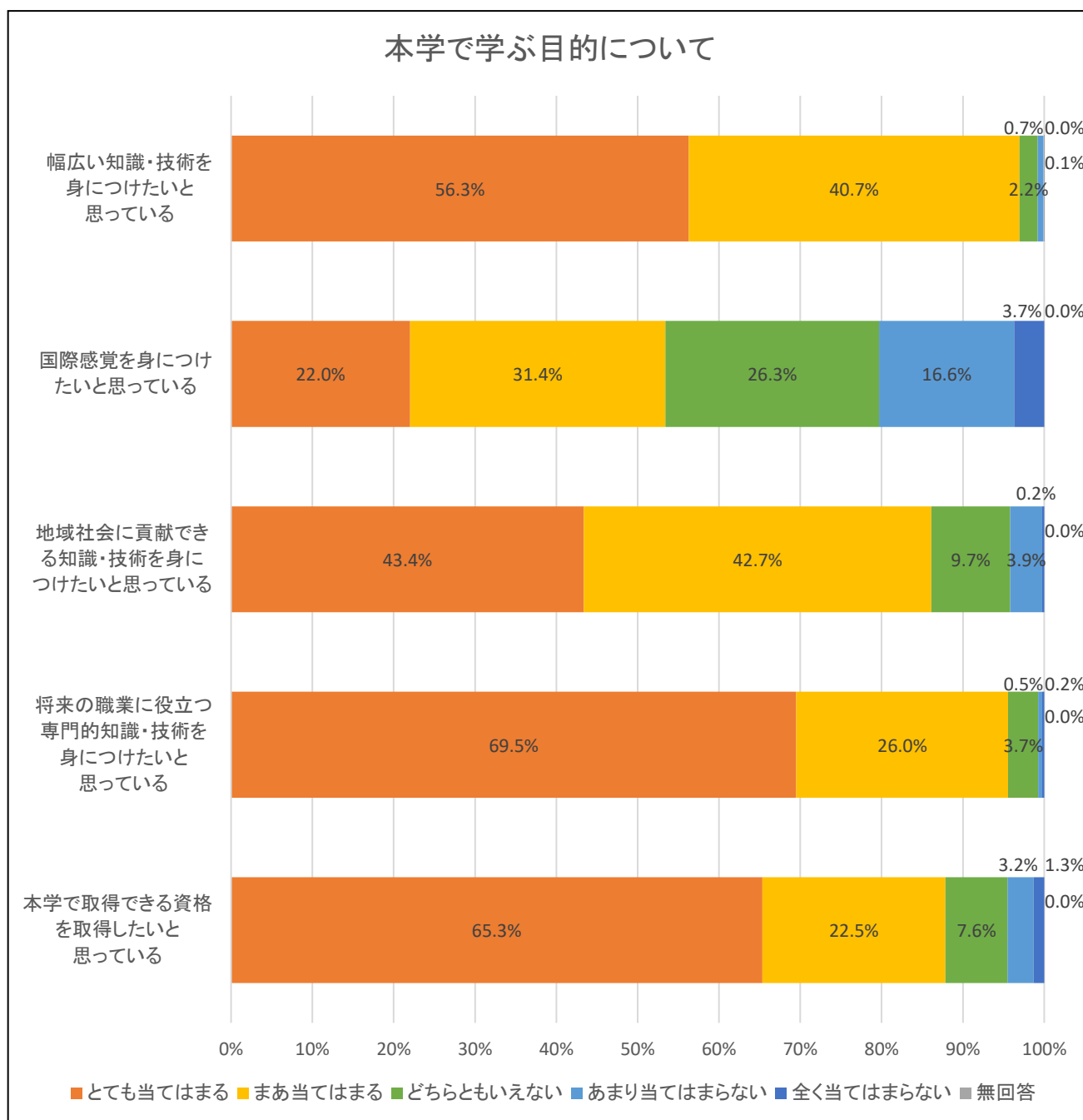


81.0%が学生生活に満足と回答。



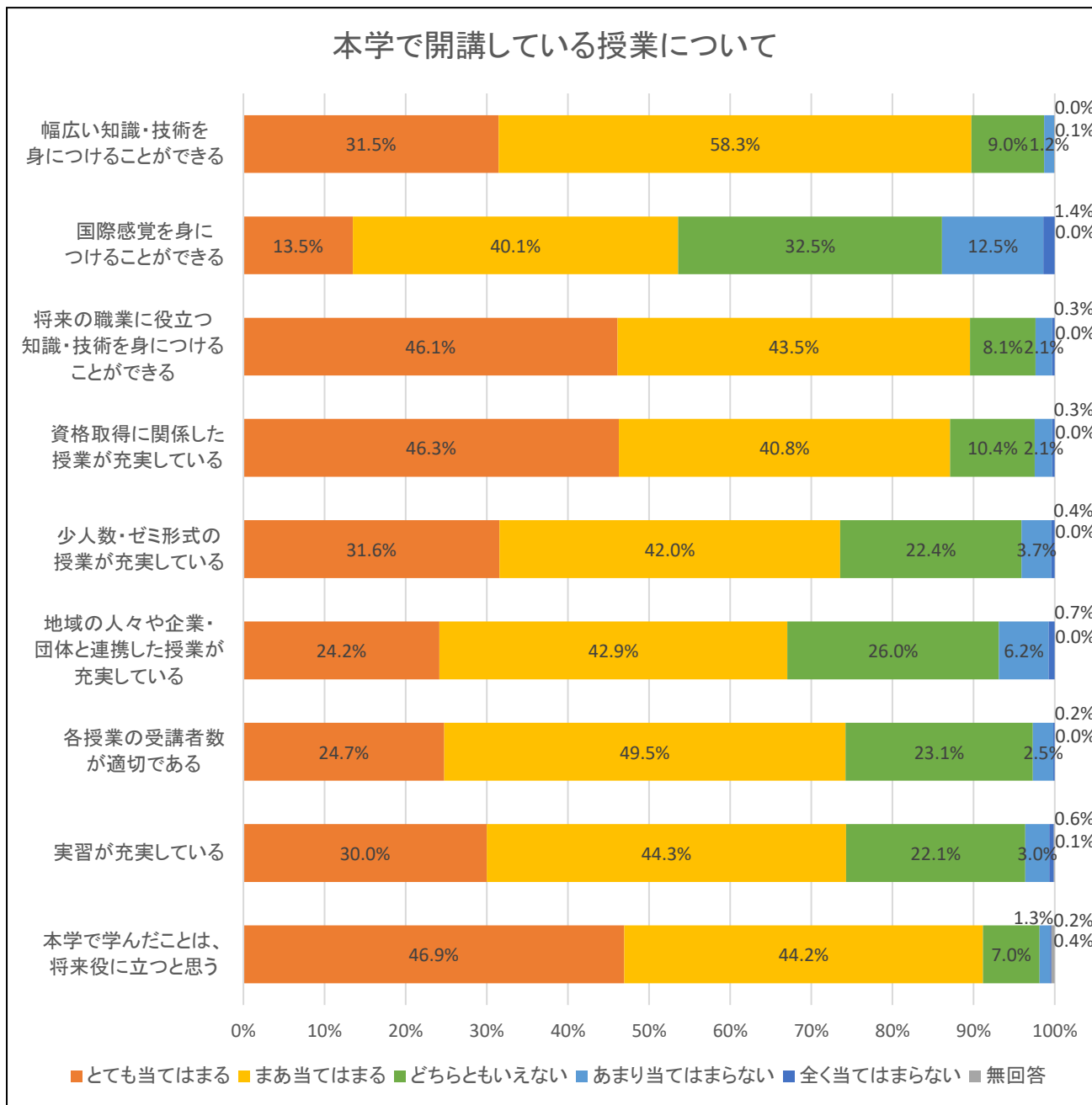
75.7%が入学時から成長を実感すると回答。

IV 本学で学ぶ目的について



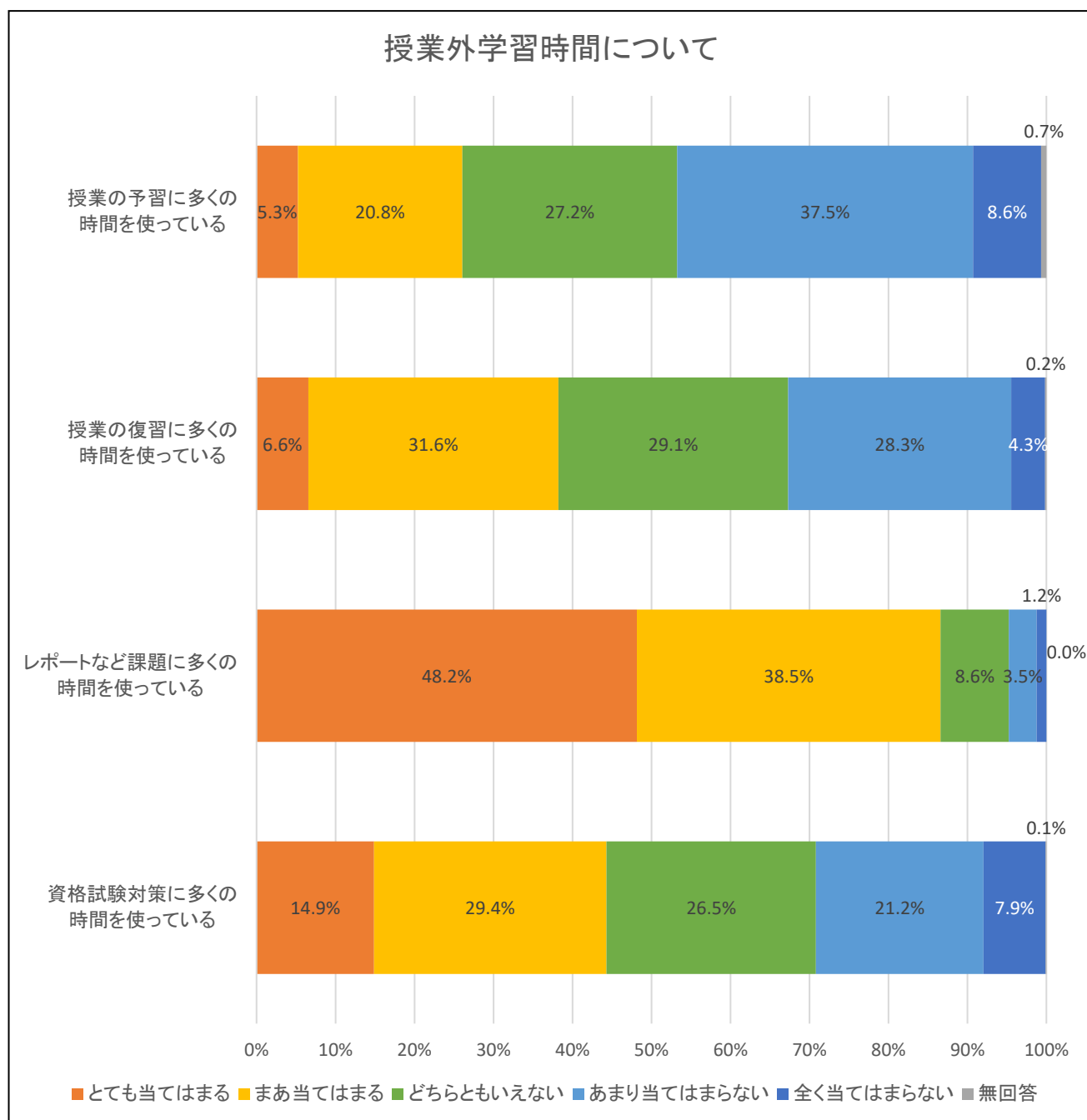
本学学生は、幅広い知識・技術の修得（97.0%）と将来の職業に役に立つ知識・技術の修得（95.5%）、すなわち、教養教育と職業教育の双方に期待して入学しているといえる。

V 本学で開講している授業について



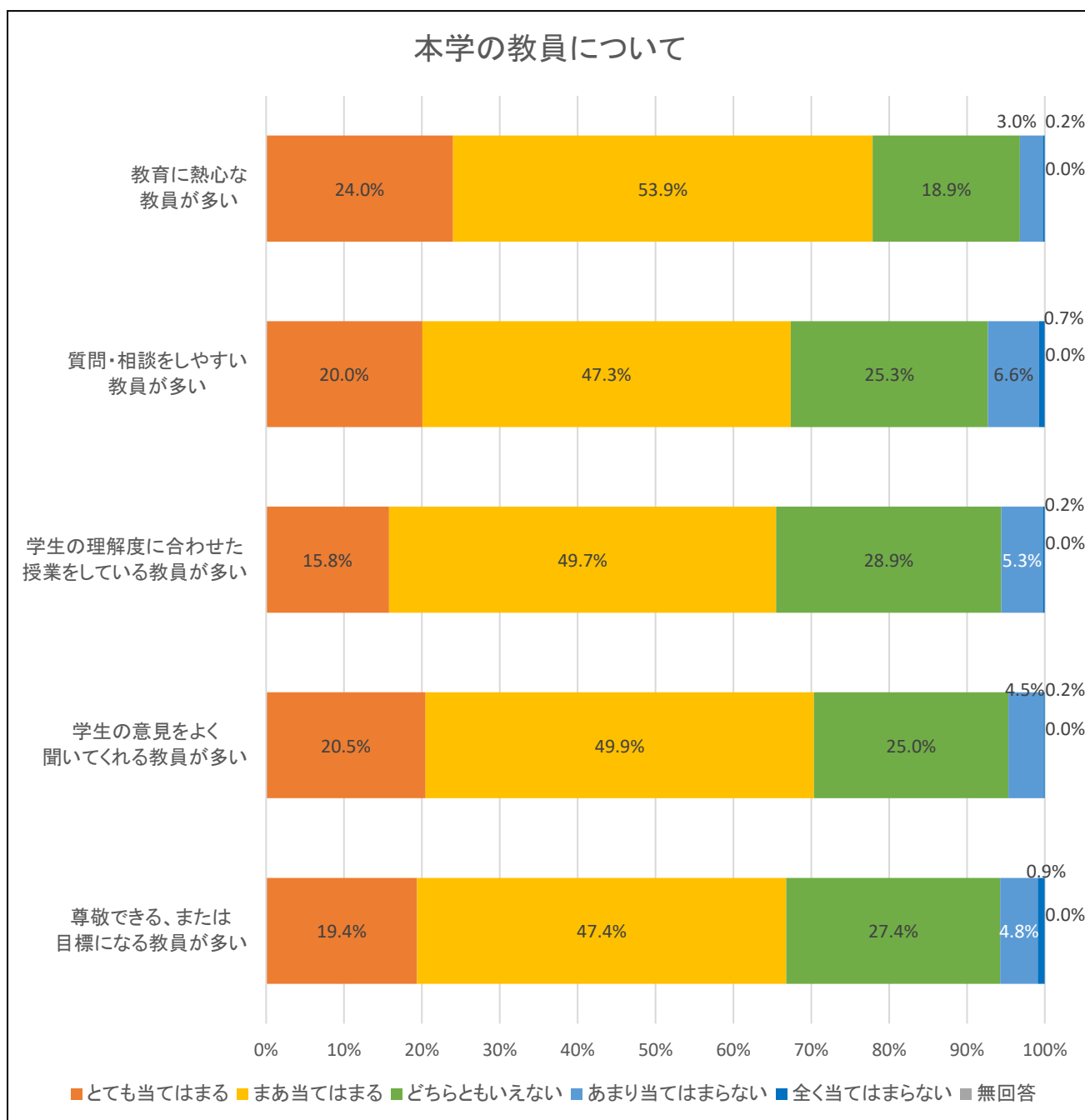
「本学で学んだことは将来役に立つと思う」(91.1%)、「幅広い知識・技術を身につけることができる」(89.8%)、「将来の職業に役立つ知識・技術を身につけることができる」(89.6%)という感想が高く、「国際感覚を身につけることができる」(53.6%)がやや低くなっている。

VI 授業外学習時間について



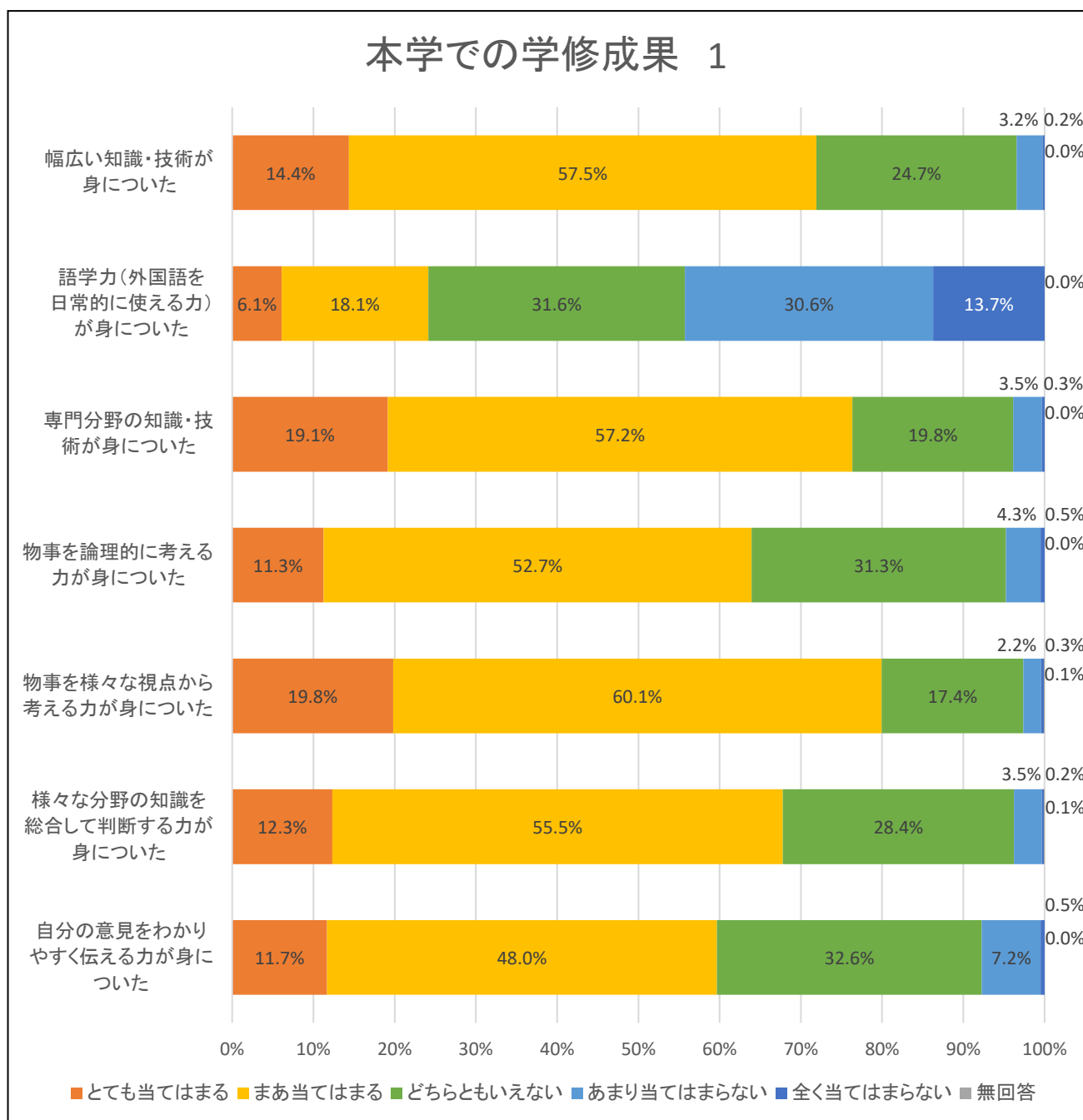
「レポートなど課題に多くの時間を使っている」(86.7%)と回答した学生が最も多く、予習、復習に多くの時間を使っていると回答した学生はそれぞれ40.0%未満である。

VII 本学の教員について



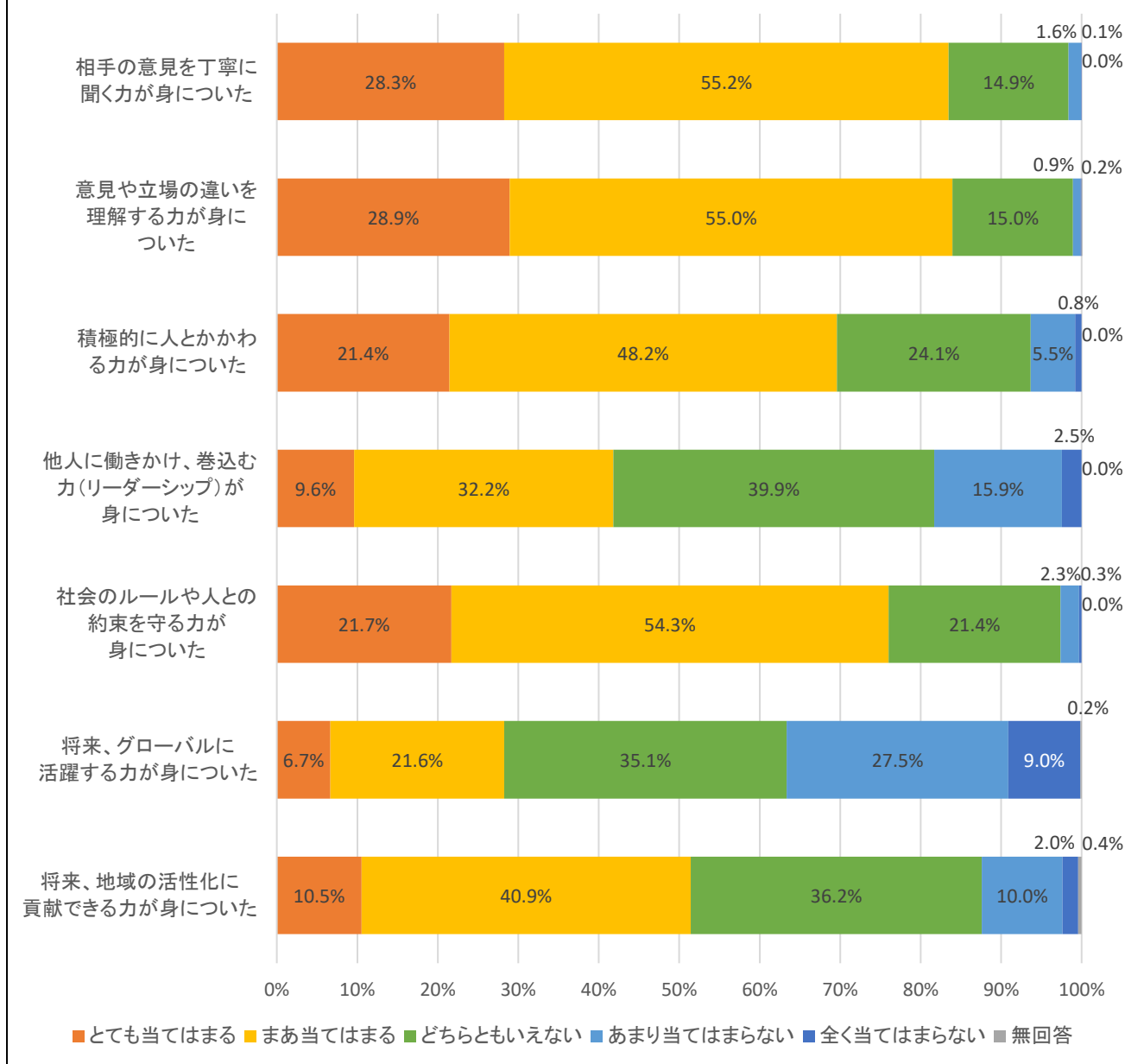
「教育に熱心な教員が多い」(77.9%)と回答した学生が最も多く、他の項目も当てはまると回答した学生が60.0%を超えている。

VIII 本学での学修成果について



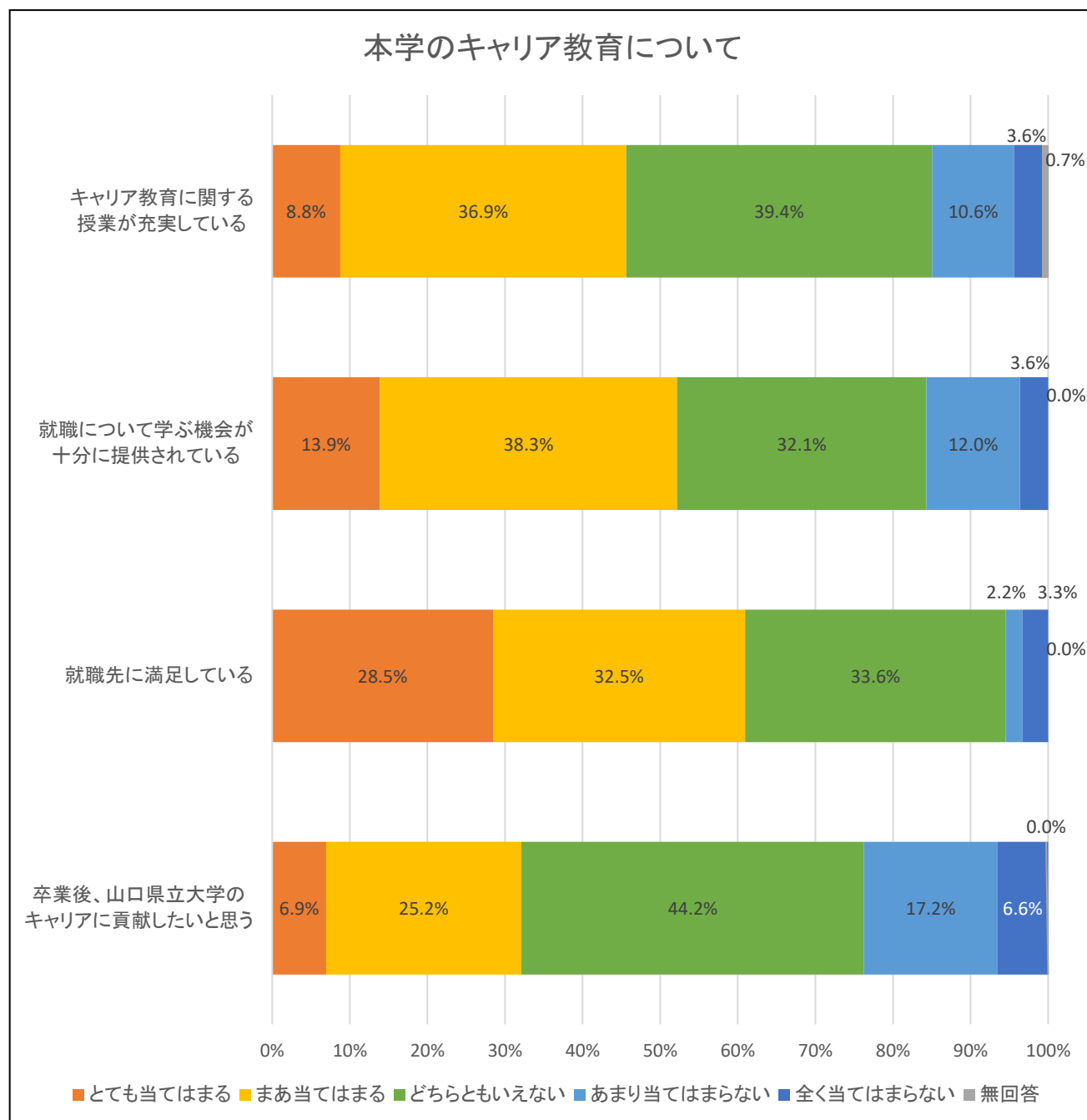
物事を様々な視点から考える力が身についたが最も高く、79.9%が身についたと回答している。一方、語学力（外国語を日常的に使える力）が身についたと回答した学生が最も低く、24.2%である。

本学での学習成果 2



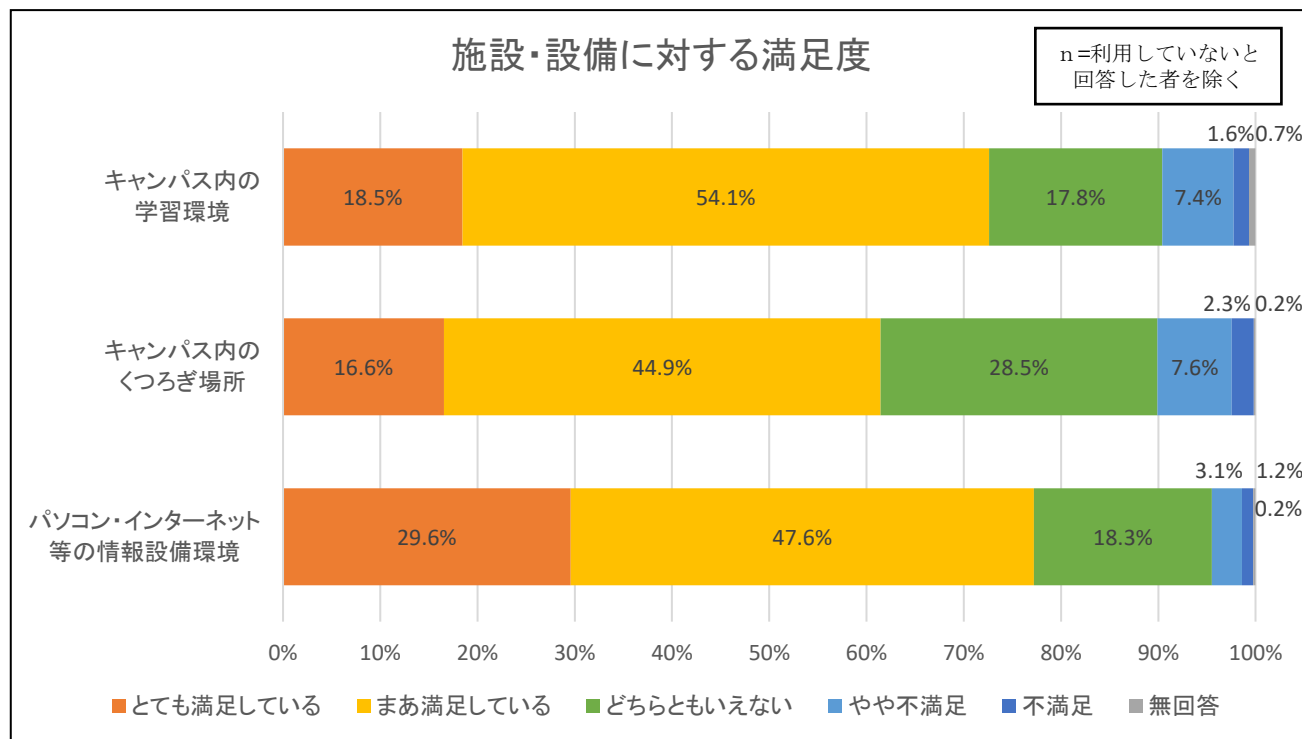
「相手の意見を丁寧に聞く力」(83.5%)、「意見や立場の違いを理解する力」(83.9%)について、それぞれ80.0%以上の学生が身についたと回答している。一方、「将来、グローバルに活躍する力が身についた」(28.3%)と回答した学生は、30.0%未満である。

Ⅸ 本学のキャリア教育について（４年生のみ対象）



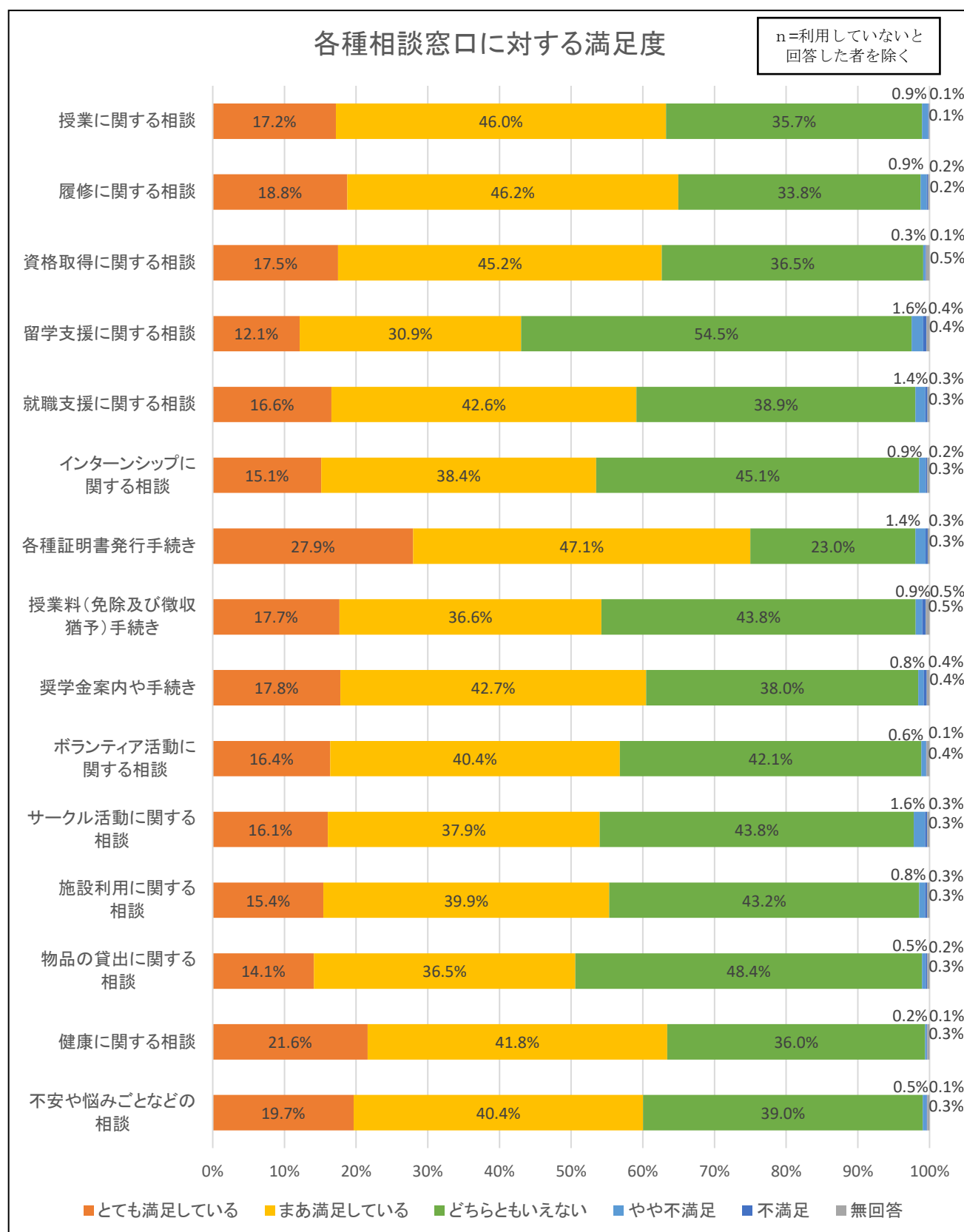
「就職先に満足している」（61.0%）と回答した学生が一番多く、「就職について学ぶ機会が十分に提供されている」（52.2%）と回答した学生も50.0%以上である。一方、「卒業後、山口県立大学のキャリアに貢献したいと思う」（32.1%）と回答した学生が最も少なかった。

X 施設・設備の満足度



「パソコン・インターネット等の情報設備環境」(77.2%)の満足度が最も高く、「キャンパス内のくつろぎ場所」(61.5%)の満足度が最も低かった。

XI 各種相談窓口に対する満足度

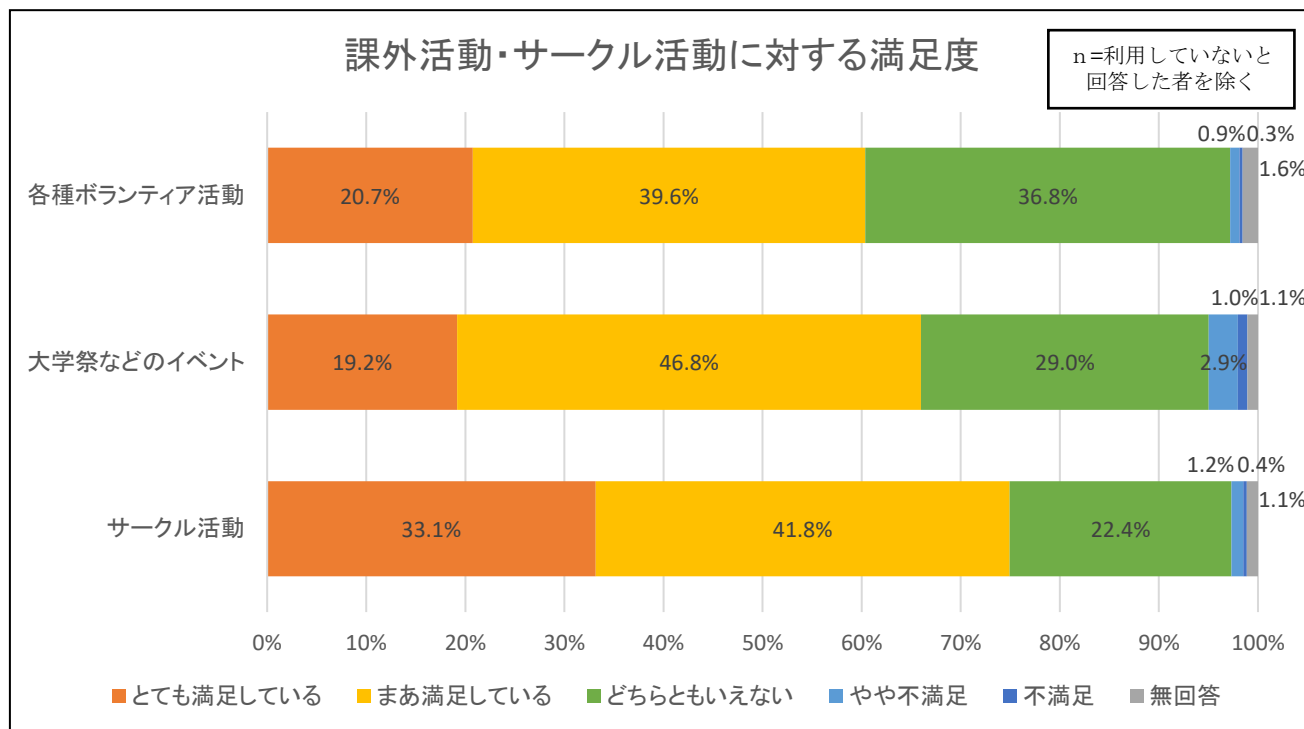


「各種証明書発行手続き」(75.0%)の満足度が最も高い。

XII 課外活動・サークル活動について

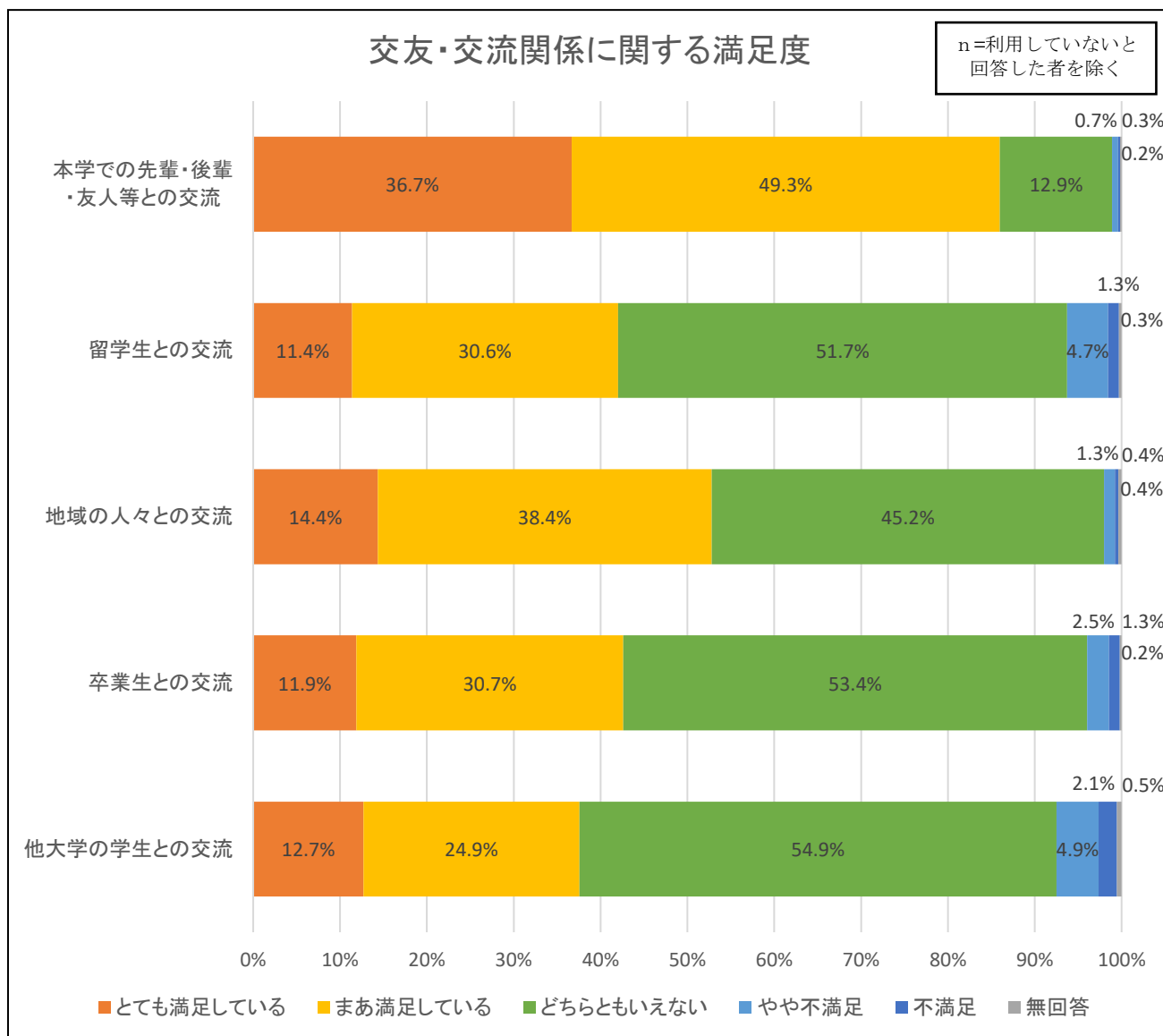
1. 1週間の課外活動・サークル活動時間 4.9時間

2. 課外活動・サークル活動の満足度



「サークル活動」(74.9%) 「大学祭などのイベント」(66.0%) 「各種ボランティア活動」(60.3%) いずれも、満足度が60.0%以上となっている。

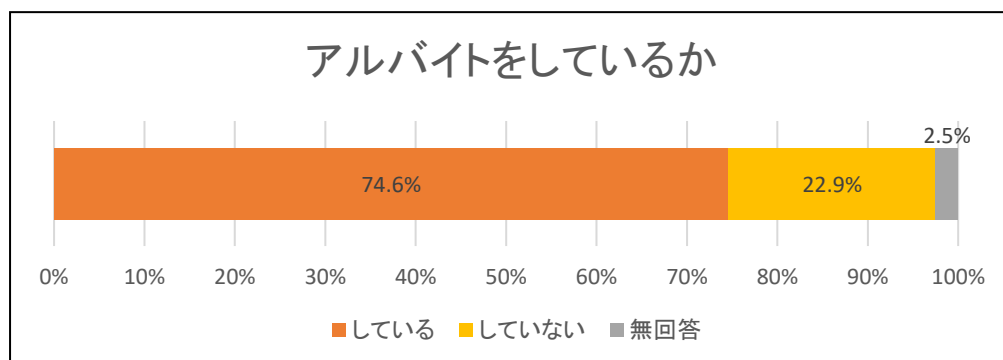
XIII 交友・交流関係に対する満足度



「本学での先輩・後輩・友人等との交流」(86.0%)は満足度が最も高い。一方で、その他の項目では、満足度がおよそ50.0%以下となっている。

XIV アルバイト・生活習慣・その他生活実態について

1. 現在、アルバイトをしているか



1 週間の平均就労時間 12.4時間

2. 収入と支出について (平均)

◆1ヶ月の平均的な収入 (円)

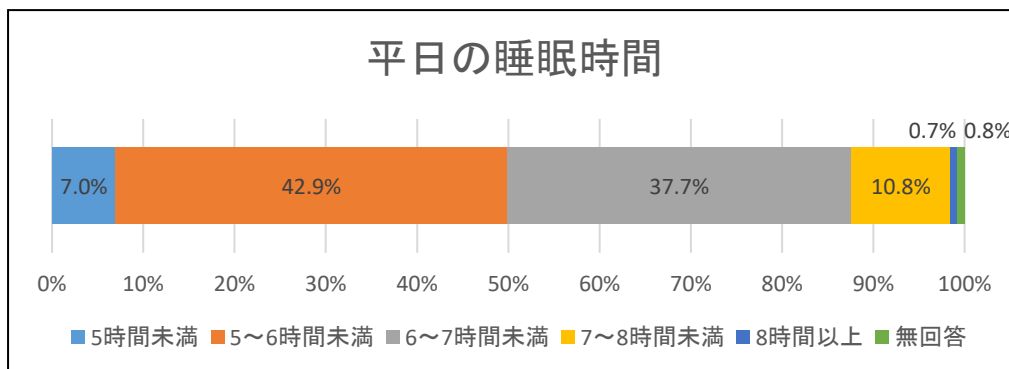
	仕送り	奨学金	アルバイト
自宅	/	50,425	43,376
下宿	46,206	55,379	39,277
全国平均 (自宅生)	/	25,959	40,248
全国平均 (下宿生)	72,980	20,190	28,770

◆1ヶ月の平均的な支出 (昼食代のみ1日の額) (円)

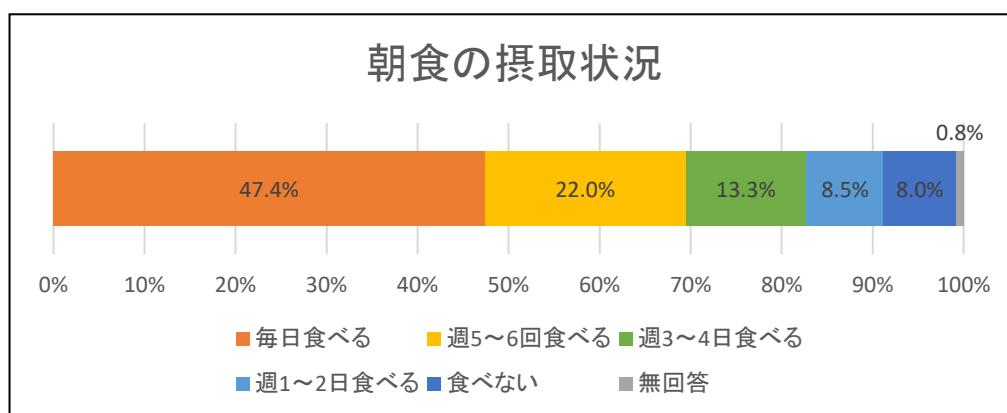
	住居費	書籍代	食費	1日の昼食代	サークル活動費	娯楽費	通信費
自宅	/	4,319	15,125	499	3,172	13,545	8,001
下宿	35,757	4,639	19,487	413	3,768	13,056	7,400
全国平均 (自宅生)	/	1,340	12,580	—	—	9,470	—
全国平均 (下宿生)	52,820	1,510	25,190	—	—	9,830	—

※全国平均は (『第53回学生生活実態調査の概要報告』全国大学生生活協同組合 より転記)

3. 平日の睡眠時間

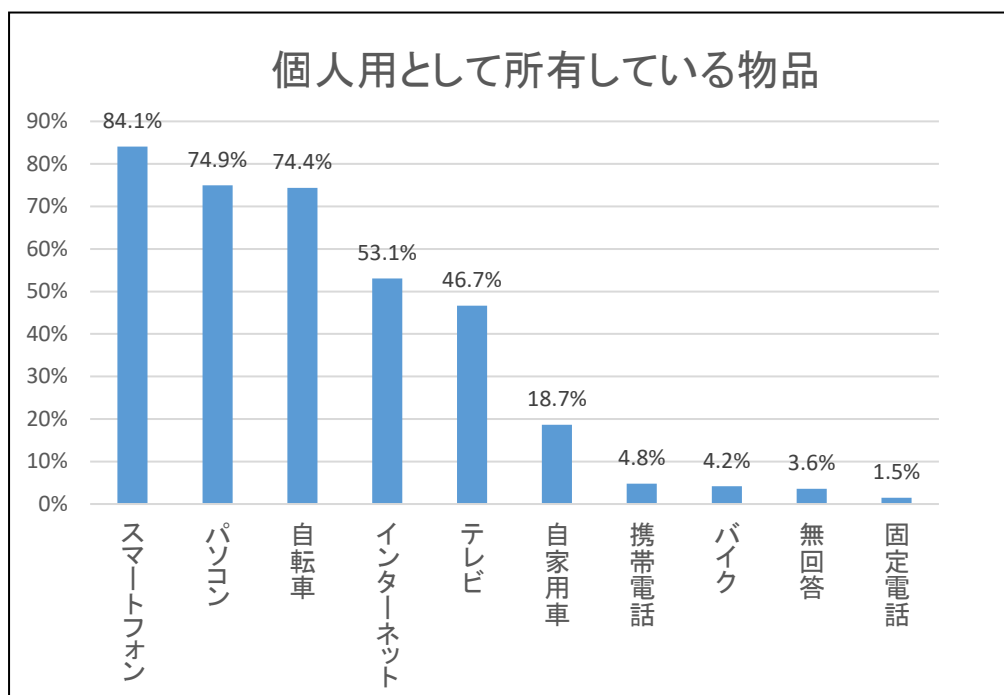


4. 朝食の摂取状況



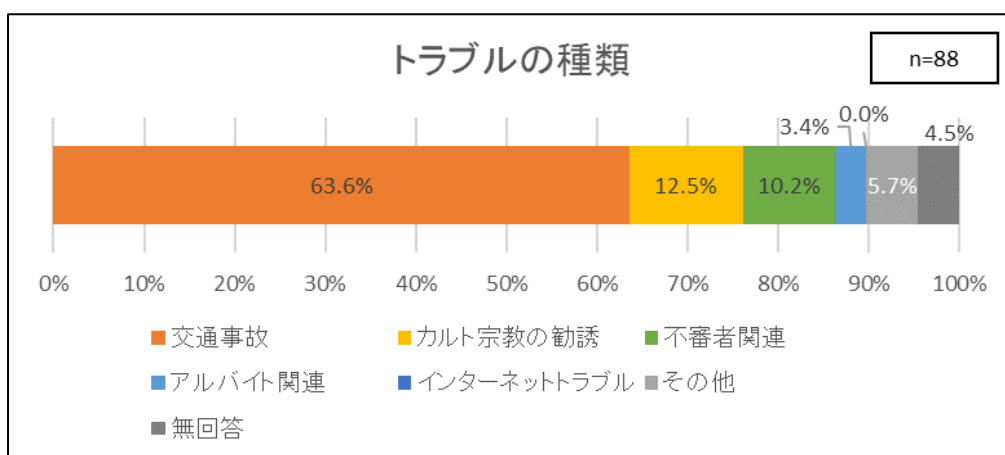
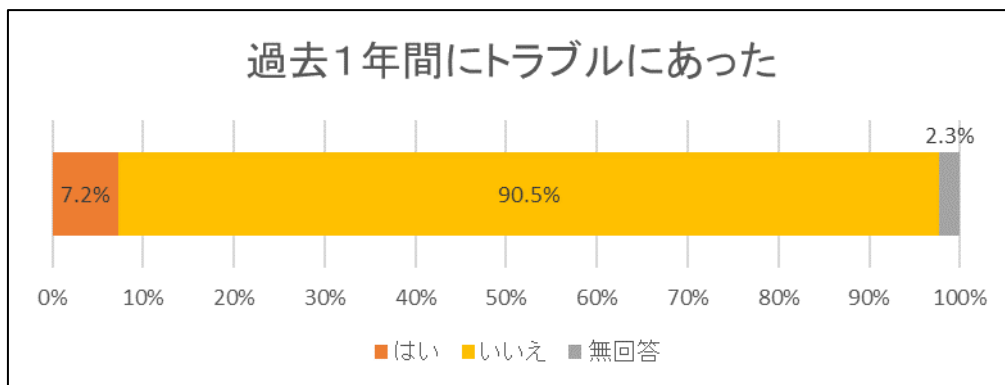
下宿生が65.0%を越える中で、80.6%の学生が5～7時間の睡眠を取り、47.8%が毎日、22.2%が週5日以上朝食を摂取している。

5. 個人用として所有しているもの（個人で契約しているもの）



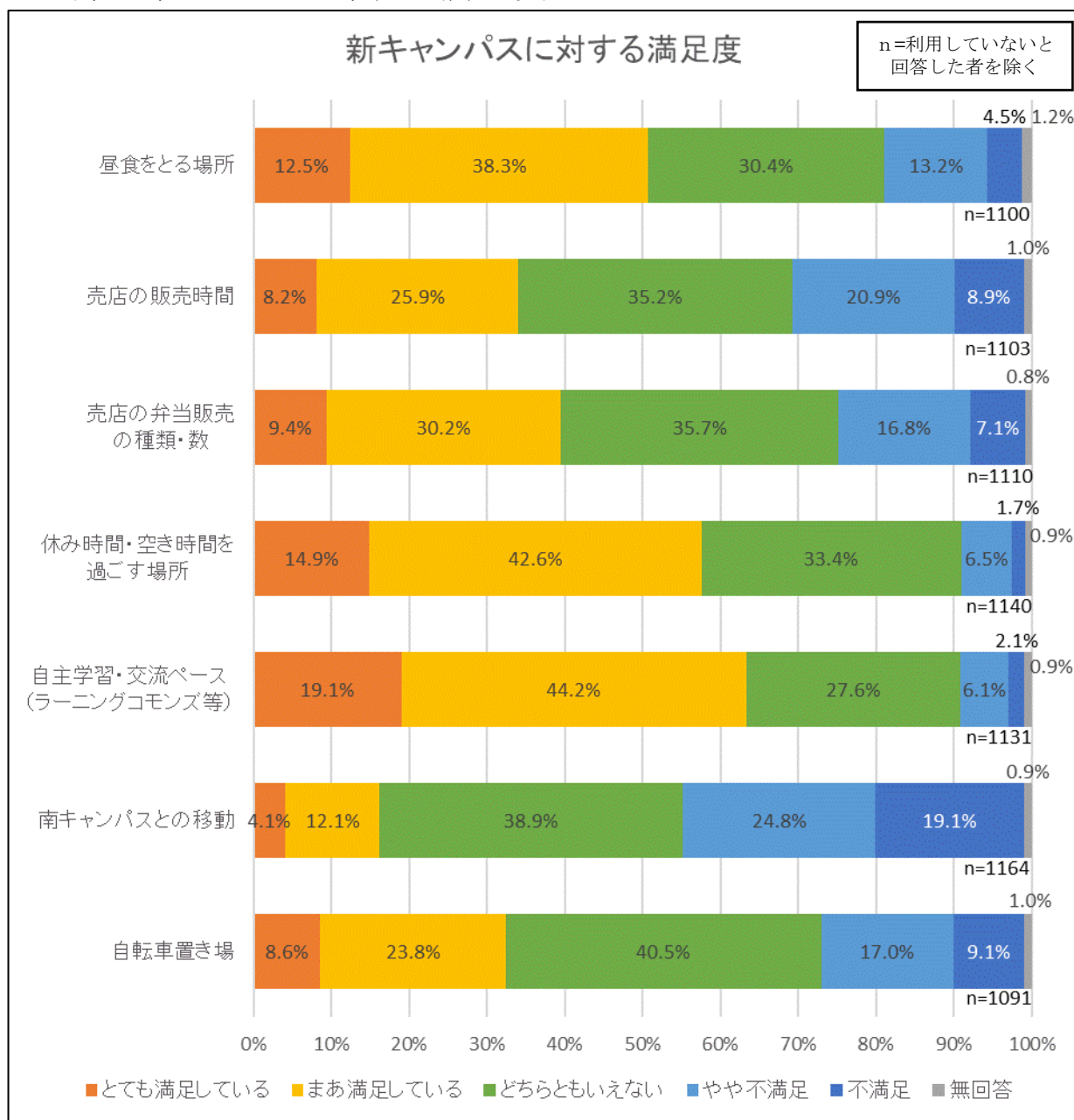
6. 過去1年間に事件・事故やトラブルを経験したか。

(はいと回答した者のみ) それほどのような内容だったか。



全学生の7.2%ではあるが、88人の学生が事件事故等を経験している。
そのうち、63.6%が交通事故である。

XV 新キャンパスに対する満足度



全体的に満足度はあまり高くない。特に、南キャンパスとの移動には、43.9%が満足していない。また、「自転車置き場」(32.4%)「売店の販売時間」(34.1%)「売店の弁当販売の種類・数」(39.6%)等についてもいずれも満足度が40.0%以下となっている。

おわりに

本学では、昨年度から新たな項目を加え、「学生調査」として実施しました。項目数の増加に伴い、回答していただくみなさんの負担は、増えたと思いますが、より詳しいデータを得ることができたことに感謝申し上げます。

本学学生の全体的な特徴として、「幅広い知識・技術と将来の職業に役に立つ知識・技術を身につけることを目的に学んでいる」という学生が多く、学習成果についても「幅広い知識・技術が身についた」に当てはまると回答した学生は70.0%を超えています。自分の学びに目的を持って取り組み、その結果、成果も出ていると実感している学生が多いことがわかりました。

また、昨年引き続き「キャンパス移転に伴う不満足」「売店の販売時間・種類」に対する不満足度が高いということがわかりました。学内各部局において、本報告書を総合的な学生支援活動にご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、調査にあたりご協力いただきました全学生のみなさんに厚くお礼申し上げます。

山口県立大学 教務学生部 学生支援グループ